



図書館だより

＜2022 年 夏号＞
千葉経済大学総合図書館

春の学生ブックツアー

図書館では、毎年5月と11月に学生ブックツアーを行っています。ブックツアーとは、学生が図書館で所蔵してほしい本を書店で選ぶイベントです。令和4年度春季は書店での実施を取りやめ、8名の学生選書委員が各自インターネットなどを利用して本を選びました。

〔選書抜粋〕

- ＊ ポジティブことば選び辞典
- ＊ 365通りのストレス対処法
- ＊ 孤島の鬼―江戸川乱歩ベストセレクション
- ＊ 小説 心が叫びたがってるんだ。
- ＊ 「空腹」こそ最強のクスリ
- ＊ △（さんかく）が降る街
- ＊ キリンが小説を読んだら
- ＊ 恋に焦がれたブルー



企画展示

「がんばれ銚子電鉄」

図書館では、来年開業100周年を迎える銚子市の小さなローカル鉄道「銚子電鉄」の紹介展を開催しています。

1923年に開業した銚子電鉄の歴史や、経営状況の悪化を救うべく行っている数々のユニークな施策や商品を展示パネルや関連資料で紹介しています。



開催期間：2022年6月6日(月)～8月5日(金)

開催場所：千葉経済大学総合図書館2階閲覧室

開館日：図書館開館カレンダー
(<https://lib.cku.ac.jp/>)



先生が選んだおすすめの一冊

『外国人と働いて結果を出す人の条件』山本紳也 著

(経営学科 藤波 美帆 准教授)

私たちが日常生活を送るなかで、海外に行かなくても、外国人や、海外の文化背景を持つ人と、接する機会が増えています。社会人になれば、海外への赴任や出張に限らず、国内でも、そうした人達と一緒に仕事をすることも珍しくありません。でも、実際に外国人と接することになったら、多くの人は戸惑い、十分な対応をとることが難しいのではないのでしょうか。

本書では、日本とは異なる文化や価値観、コミュニケーション、行動様式に上手に対応し、かつ楽しく、多様な人たちと仕事を進めるためのヒントが紹介されています。若い時から多国籍の人々と接点を多くもってきた著者が、組織人事コンサルタントとして接した数多くの外国人と共に働く、あるいはクライアントとして接した経験をもとに、外国人と働くための七つの条件を提示しています。各章で説明されている条件は、①「専門性」を身につける、②「論点」を捉え「論理思考」で考える、③話し合いではなく「議論」をする、④「違い」を楽しむ、⑤積極的に「経験」する、⑥「感性」を大切にする、⑦自らを理解し「自分軸」を持つ、の七つになります。

新書なので、一つ一つの話がコンパクトにまとめられており、通学途中の車内などで手軽に読むことができます。でも、その後で、じっくり読み返してみてください。外国人と働く場合だけでなく、多様性を重視する現代社会において、他者とのように関係性を構築するのか、ものごとに対する見方や考え方について、改めて考えさせられると思います。



学生が選んだおすすめの一冊

『沈黙』 遠藤周作 著

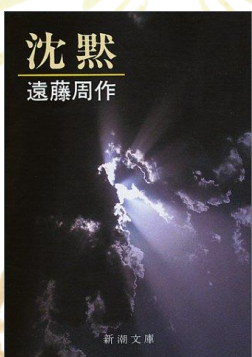
(経営学科 四年 高松 紀子)

島原の乱が収束して間もない頃、布教のため日本へ渡っていたクリストヴァン・フェレイラが棄教したとの知らせが入った。フェレイラはイエズス会の司祭で、有名な神学者である。にわかに信じがたい知らせに、彼の弟子であるロドリゴとガルペは、日本へと向かうことになる。主人公であるロドリゴは、日本でのキリシタン弾圧を目にし、大いに苦悩する。

本作では、キリシタン弾圧を受けて殉教した者と、棄教した者が描かれている。殉教者が描かれるシーンを読んで、私は感動した。迫害され苦痛に晒されてもお教えを捨てないと言うのは、並大抵のことではない。とてつもない精神の強さである。

では棄教した者は？ 精神が弱かったのか、果たして彼らは悩まなかったのか。

そうではない。彼らにも苦悩はある。しかし、彼らはその内面に触れられる事なく、教えを捨てた者として軽蔑される事になる。棄教者が棄教に至るまでどんな葛藤があったか、それらは知られることも語られることもなかった。そんな棄教者たちに触れた作品である本作だが、タイトルの『沈黙』とは、果たして誰の『沈黙』なのか。



『世界一やさしい「やりたいこと」のを見つけ方』

八木仁平 著

(ビジネスライフ学科 二年 春山 繪)



私がこの本に出会ったのは書店でした。それはちょうど自己分析をするのに苦戦していたときで、自分の得意なことや好きなこと、したいことなど授業で習ったことを考えれば考えるほど、理由が明確にならず自分のことは自分が一番理解していたと思っていたのに全く分析ができませんでした。

しかし私はこの本を読んで初めて他の人に自分のことを表現できるようになったと強く感じられました。つまり自己分析・自己理解をするのに最適な本だと思いました。

なぜなら私が自己分析をしていた時になぜ進まなかったのかと言うと、どこから手をつければ良いのかを知らなかったからです。

もし私と同じようにできているのかなとか、これで合っているのかなと不安に思う人がいるのなら、「自己理解ビジュアルフローチャート」をやってみることをおすすめします。決して見栄を張らず、正直に答えれば、過去にあった多数の自身の実体験と結び付けて話すこともできるため、説得力も増します。

これであなたの就活は楽しく有意義なものになります！

図書館サービス情報



本の延長や予約ができます！

図書館には「MyCARIN」というサービスがあります(学内者限定)。このサービスを利用すると図書館に来なくても、インターネットで貸出期間の延長や、貸出中になっている本の予約をすることができます。

「MyCARIN」は図書館ホームページの、青いバナーからログインしてください。



電子書籍を閲覧できます！

今年の4月より電子書籍サービス「Maruzen eBook Library」を導入しました。学内のパソコンから自由に閲覧することが可能です。

学外のパソコンやスマートフォンでも閲覧することができますので、設定方法が分からない場合は、図書館職員までお尋ねください。

電子書籍

本学の学生及び教職員は電子書籍が利用できます。

下記のバナーをクリックしてください。

尚、学外から利用する場合は、別途アカウント登録が必要になりますので、下記利用マニュアルをご覧ください。



【Maruzen eBook Library】
本学の学生及び教職員は電子書籍が利用できます。

・利用マニュアル

・学外・スマートフォンからの利用

ロゴをクリック
して下さい！



わからないことがあれば、お気軽にお尋ねください

